

企画展

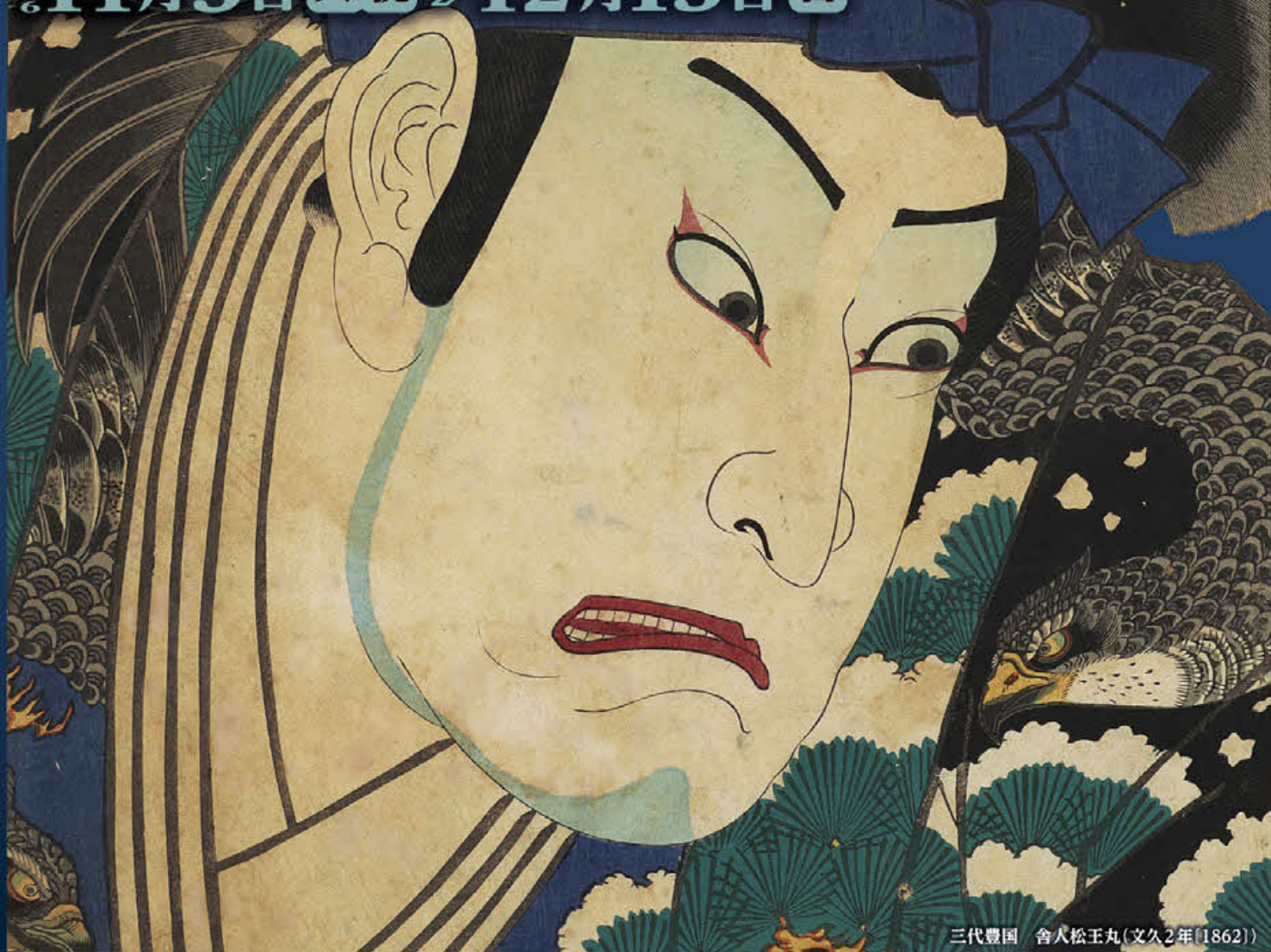
我が名は

豊国

館蔵品でみる
浮世絵の世界

II

11月3日(火・祝) ≧ 12月13日(日)



三代豊国 舎人松王丸(文久2年(1862))

ぎやらりーとーく

担当学芸員による展示解説を行います | 約30分

11月7日(土)、21日(土) 各日 午後2時～

〒165-0022 東京都中野区江古田4-3-4

TEL (03)3319-9221 FAX (03)3319-9119

[開館時間] 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) [休館日] 月曜日・第3日曜日

ぼすとカード

ぷれぜんと

3種類の中から
お好きな絵柄をぷれぜんと

数に限りがあります。なくなり次第終了とさせていただきます。写真はイメージです



お一人様一枚



入館料 無料



山崎記念

中野区立歴史民俗資料館

掲載の展示・イベント等は、中止・延期または内容が変更となる場合があります。



七月

初代国貞(香蝶楼)
天保7年(1836)
栄久堂(山本屋平吉) 大判

足元に男児が纏わりつき、思わず微笑む美人の姿を描く。着物の裾に透ける男児の顔が、一瞬の清涼感を演出する。慈愛に満ちた美人の表情が印象的。



次郎の君・たそかれ

三代豊国(年玉杵)
嘉永4年(1851)
住政(鳳来堂、住吉屋政五郎) 大判

画題は「修紫田舎源氏」。「たそかれ」は『源氏物語』の夕顔に相当するキャラクターで、盗賊である母を改心させるため、自害する。本作の「次郎の君」は八代市川団十郎、「たそかれ」は初代板東うしか。



賤ノ女すゞしろ 実若菜姫

三代豊国(年玉杵)
嘉永6年(1853)
林屋庄五郎 大判・3枚続のうち

画題は柳下亭種員「白縫物語」。海女「すゞしろ」は、実は大友宗麟の遺児・若菜姫。大友家を滅ぼした菊池家への復讐に燃える。本作の「すゞしろ(若菜姫)」は初代坂東うしか。



鎌倉御所弾始ノ図

三代豊国(一陽斎)
弘化年間(1844-47)
古賀勝(古賀屋勝五郎) 大判・3枚続

源頼朝の長女・大姫らが、正月を祝って歌舞音曲に興じる様を描く。鎌倉御所は頼朝の屋敷で、頼家・実朝に至る三代の将軍府である。「国貞改二代豊国画」とあるが、二代は自称で、実は三代である。



梅柳魁双紙 五立目大詰

三代豊国(年玉杵)
安政元年(1854)
栄久堂(山本屋平吉) 大判・3枚続

紀州の山中で夫婦となっていた樺の木、柳の木が、枝を切られて別れ別れに。それぞれ横曽根平太郎、お柳という人間となり、再会を果たす。本作の「横曽根平太郎」は八代市川団十郎、「言号卯の木」は二代中村富士郎。



質の高い役者絵・美人画で人気の初代国貞。多作家で、息長く活動し、どんな注文にも応え、多くの門人を育てました。曲亭馬琴は友人への手紙に「国貞の名声は師の豊国(初代)を超えた」と書いています。初代国貞は、名実ともに歌川派のリーダー的存在でした。しかし「豊国」の名を継いだのは、弟子の豊重。初代国貞ものに「豊国」を称しますが、「自分こそ二代目」との主張には、批判もありました。本展では、関係作品約150点を出品。その優れた画業と、「豊国」襲名をめぐる経緯をたどります。

山崎記念 中野区立歴史民俗資料館

交通

- 西武新宿線「沼袋駅」北口より徒歩8分 ●都営地下鉄 大江戸線「新江古田駅」より徒歩15分
- JR「中野駅」北口より練馬駅行き(京王バス中92系統)「江古田二丁目」下車徒歩2分
- JR「中野駅」北口より江古田駅行き(関東バス中41系統)「江古田二丁目」下車徒歩2分
- ※中12系統はとまりません
- 西武池袋線「練馬駅」北口より中野駅行き(京王バス中92系統)「江古田四丁目」下車徒歩5分

開館の状況など、資料館の最新情報はホームページ等でご確認ください。

ホームページ



Facebook



X

